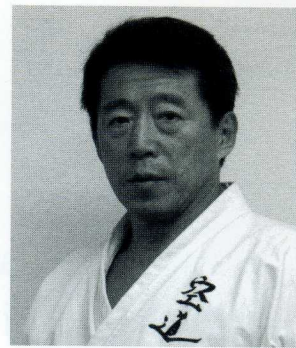


大道塾盛岡支部 設立30周年に寄せて

NPO国際空道連盟・(社)全日本空道連盟 理事長

(徒手)総合武道 大道塾総本部 代表師範・塾長 東 孝



大道塾盛岡支部設立30周年誠にありがとうございます。「光陰矢の如し」とは言いますが、それは過ぎ去った日々には当てはまりますが、その一日一日、一年一年は決して“矢の如し”ではありません。大道塾の設立にしてからが当時全盛を誇った大きな団体を離れての独歩行であり、その手探りの悪戦苦闘を経て広く認知された20年目、新たな武道「空道」としての歩みは、道そのもののない大砂漠を北斗の星（我々の理想「社会体育」）だけを頭上に仰ぎながら、一步一步、地を這うようにして新たな道を切り拓いて来た、気の遠くなるような日々でした。

その不安や焦燥に囚われて途中で引き返したり、別な道に迷い込んでしまった者も残念ながら何人かいました。そんな中であって狐崎支部長は20代の初めより一貫して支部長としての責務を自覚し「自分は先生（塾長）と運命を共にしますから」と常に総本部の方針に対し率先して協力、献身をして付いて来てくれました。生来の口下手、武骨さゆえに日頃は口に出せない「有難う」という言葉を改めて述べさせていただきます。

お陰さまで「空道」も世界約50ヶ国の加盟と3回の世界大会を重ねるまでに成長することができました。しかしながら道はこれで完結している訳ではなく、我々の先には「空道」のより一層の社会的認知という大きな仕事があります。

近年の日本社会の伝統離れ、歴史からの遊離は、日本を益々根なし草のごとき国に変えつつありますが、今日まで間違いなく日本を支えてきた大きな一つである武道を通して日本社会を守るため、今後とも「空道連盟」の全てを賭けて邁進する積りです。

いかんせん昨今の「努力を軽視し安きに流れる世相」の中であって、武道の未来は決して安心楽観を許さないものがありますが、今までの武道理論の追求の30年に加えて、これからは年代性別を超えたより広範な空道の普及の為に日々研鑽を重ね、「日本の宝である武道の伝承と発展、青少年の育成、社会人の自己実現力の向上」になお一層の努力を傾けたいと思います。

今後も「(徒手)総合武道」を目指す大道塾と空道連盟の姿勢に対して、一層ご理解、ご協力を賜り、併せて盛岡市の益々の武道普及、ご発展をご祈念申し上げごあいさつといたします。本日は本当におめでとうございます。